市民公開講座（当院研修センターにて開催）



2025 年度 第 4 回 市民公開講座

『がんと仕事の両立』

～治療を受けながら働くための知識と支援～

2026 年 2 月 28 日（土）　10：00 ～12：00

主催：独立行政法人 国立病院機構 岩国医療センター
共催：独立行政法人 労働者健康安全機構 山口産業保健総合支援センター



はじめに当院臨床研究部長 呼吸器内科 久山彰一医師よりあいさつがありました。

講演はまず、「岩国医療センターにおける就労支援の取り組み」…当院 上田佳奈がん看護専門看護師からのお話でした。次に「『治療と仕事の両立支援』と山口産業保健総合支援センターの業務」…山口産業保健総合支援センター副所長 戎本潤さんのお話でした。

特別講演は「肺がん『長期生存次代』を生きる～治療も仕事もどちらもあきらめないために～」…関西医科大学 呼吸器腫瘍内科学講座准教授 池田慧さんのお話でした。

がん告知をされた患者さんのうち約 4 割が告知後 2 ～ 3 週間で仕事を辞めてしまっているアンケート調査があり、がん治療開始前に離職した方のうち、医師と就労状況や希望を話し合った後離職した方は 2 割程度しかいなかったというアンケート調査もありました。離職をしてしまうと復職は難しくなるため、医師へ自身の希望を伝えることが重要、というお話もありました。

ディスカッションでは司会を久山医師、ディスカスタントとして参議院議員（元 NHO 四国がんセンター呼吸器内科医長）の原田大二郎さんを迎え、本日講演した 3 名の方々と共に講座参加者からの質問などに回答しました。今回の市民公開講座の参加者は 72 名でした。











『令和７年度 看護師特定行為研修 第１期生修了式』



2026 年 3 月 11 日、看護師特定行為研修修了式を行いました。当院の受講者 2 名が約 1 年間の研修を終え、田中屋院長より修了証を受け取りました。
（当院は、特定行為研修を修了した看護師が複数在籍しています。）





特定行為

診療の補助で看護師が手順書により行う38 の行為で、実践的な理解力、思考力・判断力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされるもの。
当院では救急領域パッケージの特定行為研修を実施している。

